**第１回　運営推進会議　議事録**

平成３０年　１０月　２６日（金）１６：３０～１７：３０

出席：ご利用者様　３名

　　　ご利用者ご家族様　２名

民生児童委員様　２名

　　　可児市役所　高齢福祉課より１名

　　　可児市帷子地域包括支援センターより１名

レッツ倶楽部にしかに　スタッフ　２名

自治会長様　欠席　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計１１名

○運営推進会議　議題

1. ご利用者様の状況・サービスの状況
2. プログラム報告
3. ご利用者様の意向の確認や意見交換
4. その他

○運営推進会議　内容

・出席者自己紹介

・サービス内容、利用状況、ヒヤリハット・苦情等報告

利用者様状況やサービス状況、ヒヤリハット・苦情など、レッツ倶楽部にしかにの運営状況を施設長より報告。

事故発生事例があったため事故報告書を元に説明。

・意見交換

　利用者様に普段の利用の感想、ご家族様からの感想等話していただいた後、民生児童委員様、包括支援センター様、市役所高齢福祉課様より意見をいただく。

※地域密着型通所介護での運営推進会議ですが、総合事業も行っているのでサービス全体を話題にして行いました。

○会議にて出た課題や意見など

・利用を始めて間もないが雰囲気の良さが分かる。

・安心して参加できている。

・利用者の数も増えたが、指導についても統一され順調に運営されている感がある。無駄な時間帯がなく安心。体調不良などの方への気配りも良い。

　巷では人材不足の中、スタッフの充実もされてきて、スタッフと利用者の信頼度も良好と感じている。この実情が欠落することのないよう、上層部は現場の意向にも耳を傾け運営していくことを希望する。このような施設は心と心のつながりが雰囲気作りに大切。

・（サービスＡの利用が６ヶ月と期間が決まったことをうけて）膝や関節が悪いため、散歩も難しい為、通えなくなったらと心配している。継続していることで効果が出ていることを実感している。

・家にいるとテレビ三昧だが、笑顔で出かけていくのでありがたい。

サービスＡの利用が１０月より６ヶ月となったことについて

・事業対象者皆が６ヶ月となってしまった。もう少し細かく取り決めができないか。一人暮らしの方や高齢の方など生活環境や年齢も違う中で一律６ヶ月で終了となってしまうとその後が心配。必要な方は介護認定の申請をするとはいうものの、そこまで必要でない方も６ヶ月終了してからも身体機能を維持し充実した生活を送れることが重要になってくるので、サービスＡ終了後の受け皿となるものが不十分だと、６ヶ月やってきたことの意味がなくなってしまう。運動教室も開催されるようになってきているが送迎がなく自分で行かなくてはいけないことや、サービスＡにくらべるとスタッフや環境面でも質の低下は否めない部分もあり、受け皿となるものの質の向上が求められる。

次回、平成３１年３月開催予定